

西村大臣記者会見要旨

令和3年5月2日（日）15時01分～15時42分（41分）

（於：中央合同庁舎第8号館1階S101・103会見室）

（大臣冒頭発言）連休中ですがけれども、本日、会見を始めたいと思います。

昨日、今日にかけて、何県かの知事といろいろなやり取りをしています。福岡県の服部知事、それから北海道の鈴木知事、群馬の山本知事、岡山の伊原木知事、広島の湯崎知事、埼玉の大野知事、それから徳島の飯泉知事、こういった知事の皆さんと感染状況などを意見交換、情報を共有しております。それぞれの知事とそれぞれの地域の感染状況について危機感を共有しているところでもあります。

特に福岡の服部知事とは何度かやり取りをしておりまして、そうした中で昨日、まん延防止等重点措置の適用について、お電話で正式に要請したいという御意向を伺いました。福岡の状況は急速に感染が広がっておりまして、福岡市、久留米市、特に久留米市の大久保市長からも連絡を頂いて、直接は話せていないんですけれども、かなり感染が広がってきていると。それから、病床の状況なども今後急速に逼迫する恐れ、これは服部知事ともそうした危機感を共有しております。福岡市では高島市長とも話しました。市長も強い危機感を持っておられるところでもあります。

そうした中で、福岡市で4月22日から、久留米市で26日から21時までの時短を取り組まれている中で、まず、その時短の実施状況、それから人流、こういったものの分析をともに県と国で進めたいということに一致をしました。

さらに、言わばまん延防止等重点措置のできることに、8時までの時短など、やれることは知事の権限でやれますので、是非できるだけ早く8時までの時短を含めて始めてほしいということに申し上げました。

知事は市長と相談をして、そうした方向で取り組みたいということでお話がありましたので、検討が進められているものと思いますが、事業者のご都合もあると思いますが、それぞれの準備などがあると思いますが、この連休の機会を捉えて、できるだけ早期に強い措置で抑え込んでいくことが大事だと思いますので、それぞれの知事と同様のお話をいたしております。

多くの知事が8時までの時短をできるだけ早く始めたいということでは、言われております。感染が拡大している地域の知事とそうした話を、昨日から今日にかけて事務的にもかなり詰めて話をしてしているところでもあります。この連休の機会を捉えて、是非感染拡大を抑えていきたいと考えております。

それから併せて、福岡の知事と話したんですけれども、関西から、あるいは東京から観光客が来ているということで、観光施設であったり、あるいは中洲などの繁華街。久留米の場合はどちらかという佐賀との県境というか、県が近いので、佐賀との感染などが広がってきているものだと思いますが、福岡市内はかなりの観光客が来ていると。私どもの人流を取っても、出していただいたら良いですけれども、人流も中洲は減っておりません。博多駅も減っておりませんので、このことも是非強く知事からも改めて発信してほしいということもお願いしました。

私からも改めて、これは北海道をはじめ、広島、岡山もそうなんですが、都府県から、感染拡大している地域からは出ないということ、そしてそれぞれの県をまたぐ移動を是非控えていただく、このことを強くお願いしたいと思います。

今回、連休中、本当に多くの皆さんが楽しみにしておられて申し訳ないんですけれども、全国的に広がってきておりますので、ワクチン接種が進む夏に向けて、ここは我慢をしていたただいて、帰省、旅行を控えていただくようお願いをしたいと思います。後半にかけても是非、予定しておられている方は考え直していただいて、JAL、ANA、JRなどはキャンセル料を取らないという配慮などもしてくれておりますので、残りの大型連休後半、是非、ステイホーム、家にいていただいて、旅行や帰省、こういったことは控えていただくようお願いしたいと思います。もちろんステイホームと言ってずっと家の中になくても、散歩とかジョギングとか、こういったものはもちろん構わないわけでありまして。

変異株について出しますが、これは非常に強い感染力であります。従来に比べて感染力が1.32倍高いということで感染研から言われていますが、1.3倍うつす、またうつった人が1.3倍うつすわけですので、1.3掛ける1.3で、それだけで2.7になるわけです。次から次へ感染力が強い。従って、あっという間に何倍の感染になりますので、これが大阪で起きた状況です。

1,200人という状況、東京でも今、1,000人のレベルが続いてお
りますので、是非ともこの感染力が強いということをお理解い
ただいて、特に最近のクラスターで見ますと、屋外の事例でも、
これまでなら感染が見られなかったものでも見られています。

中高生が屋外で、部活終了後に車座になってジュースを飲む。
マスクを着けて会話をしたけれども、やっぱり近い距離で大き
な声で会話が弾んでしまうと感染が出ています。それから、サ
ークル活動の後で屋外での飲み会。屋外なら大丈夫ということ
ではありませんので、是非お願いをしたいと思います。それか
ら、河原での大人数の飲み会、これも感染が広がっていますし、
また、埼玉の事例ですけれども、バーベキューでもクラスター
が出ています。

屋外だから大丈夫ということではありません。テレビの報道
でもありましたし、専門家が言われているとおり、これまでは
3密を回避すれば良いと。ところが1つの密だけでももう感染
が広がっているケースもあります。路上飲み、公園飲み、こう
いったことをそれぞれの都府県で徹底して呼び掛けをして、公
園も閉じたりされていきますけれども、駅の周りとかでまだ路上
で飲んでいる姿も報道されています。是非、御自身の健康のた
めにも、そして仲間の健康、命を守るためにもこうしたことは
控えていただくようお願いをしたいと思います。

比較的若い世代でも重症化する、こういったことも報告がさ
れています。あるいは重症化して長引くというケースも報告が
されていますので、自分は大丈夫ということではなくて、是非、
一人一人の御協力をお願いしたいと思います。お願いばかりし
て本当に恐縮なんですけれども、この連休、仕事も休みの間に
ステイホームで人と人との接触を減らすことで、何とかこれで
感染を抑えていきたいと。夏に向けてワクチンがどんどん進ん
でいきますので、今は我慢、是非お願いをしたいと思います。

それから、埼玉の大野知事とお話をしたんですけれども、近
隣のショッピングセンターでやはり人出が増えています。お酒
の方は提供しないということで、まん延防止等重点措置で東京
と同等の措置をお願いしておりますけれども、ショッピングセ
ンター、百貨店など、こうした所は入場制限、入場整理をやっ
ていただくことで、知事の方で取り組んでいただけるように改
めて確認をさせていただきました。1都3県の知事で連携をし
て、それぞれの商業施設は来られても入れない、入場整理、入

場制限、混雑しないように対応していただけるようお願いしたいと思えます。そして、そのこともそれぞれの百貨店で、ホームページなどで是非アップしていただければと。そうした状況も是非協力をいただけるように、それぞれの知事で連携して対応してほしいということをお願い申し上げました。

改めて、先ほど申し上げたように、東京の方は近隣に行かないように、この機会を抑えないと、近隣で広がるとまた東京も広がりますので、せつかくここでこの大型連休を機に抑えていこうということ、緊急事態宣言で、多くの皆さんには御自宅にいていただいて人流も少しずつ減ってきています。ご協力いただいていることに感謝申し上げます。自分たちは大丈夫、マスクをしていたら大丈夫ということではありませんので、変異株は非常に感染力が強いということ、そして自分は大丈夫とってみんなが移動すれば、それでまた感染が広がる。このことを是非改めてご理解いただいて、お願いしたいと思えます。

この感染力が強い変異株を抑えていく、そして緊急事態宣言を長引かせないためにも、是非、今は我慢、このことをお願いしたいと思えます。事業者の皆さんにも協力金などでしっかりと支援をしてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

私からは以上です。

(問) 2～3点お伺いしたいのですが、まず、福岡県の知事からまん延防止等重点措置の適用の要請があったというお話がありました。適用の判断やその時期などについて、現状どのように考えておられますかということと、あと、他県の知事ともお話しされていますが、その方たちからも重点措置の適用といったお話があったのでしょうか。

(大臣) まず、これまでお電話で岐阜、三重、茨城から、まん延防止等重点措置についての要請の意向を伺いました。それから、昨日、福岡の服部知事からも伺いました。

現時点で何か分科会などの日程が決まっているわけではありませんが、まずは時短の実施状況、それから人流データ、これは私どもで取っておりますが、県と共有しながら状況をしっかりと確認していきたいと。さらには病床の状況などの分析、今後どうなっていくかということも含めて、私どもでも分析をし

ておりますので、それを共有しながら判断していくということにしております。

必要となれば専門家の御意見を聞いて、機動的に対応したいと考えております。連休中であっても国会の方も緊急の時は対応していただけると聞いておりますので、いずれにしてもそうした分析を急ぎながら、必要となれば機動的に判断をしていきたいと考えております。

いずれにしても、今からできることは、そういう分析を進める間でもできることは行ってほしいということで、先ほど申し上げた20時までの時短であったり、あるいは今日、私が申し上げたような変異株の感染力の強さとか、あるいは県をまたいで移動、このことについて自粛をしていただけるように知事から強いメッセージを、是非、発信してほしいということをお願いしております。

昨日、福岡県知事は6市長と一緒に会見を開いたと聞いておりますけれども、福岡への流入人口がかなりあるようでありますので、是非、首都圏、関西圏の皆さん、福岡のみならず、この連休も後半になりますが、県をまたぐ移動を是非控えていただくように、できる限りステイホームでお願いをしたいと思います。

そうした取組をそれぞれの県の知事ともお話をしておりますので、今、直ちにまん延防止等重点措置を何か要請するということではないんですけれども、他方、感染が広がってくればそうした要請も視野に入れて対応したいという知事が何人かおられました。私からもそうした危機感を共有しながら、やれることを、20時前の時短などをできるだけ早く対応してほしいと。言わば、まん延防止等重点措置をやるかどうかは別として、前取りして対応してほしいということをお願いしました。

その際、金曜日に内示をしておりますけれども、3,000億円の地方創生臨時交付金、このそれぞれの都道府県への配分を内示しておりますので、これも活用して、もちろん飲食店の時短については一定範囲で8割を国が持つことにしておりますが、それ以外に何か対応することも含めて、この交付金を活用して対応してほしいということをお伝えしておりますので、国、県で連携しながら、やれることを直ちにやりながら、必要となればまん延防止等重点措置を機動的に対応していきたいと考えております。

(問) 福岡県について2点お伺いします。1つ目は、28日の電話会談では大臣からの時短の1時間繰り上げ要請に応じなかった知事が、わずか3日で重点措置を要請してきたことについて、率直な感想を伺えればと思います。

2つ目は福岡県の重点措置の適用について、先ほど分析を進めているとのことでしたが、これにはどのぐらいの期間を要するのでしょうか。判断のタイミングは連休明けを想定しているのか、改めてお願いします。

(大臣) 知事にもそれぞれの市長との調整もあるでしょうし、それから事業者との調整、経済界との調整などもあると思いますので、これまでもそうですし、いろんな場合でそれぞれの知事はそういったことで調整の一定の時間は必要ですので、これはこれで知事のそれぞれの調整の時間がかかったものだと思いますけれども、福岡の場合は急速に拡大をしてきておりますので、私からも強く20時までの時短ということをお願いしましたので、そして交付金の配分も出ましたから、それを受けて、それでも何か県の方で上乘せしたり横に広げたりする予算も確保できたということもあったと思いますので、いずれにしても調整を急いでいただいて、少しでも早く対応していただいた方が良く思っています。

そして、データの分析、人流なども共有しながら、また病床の分析も県からももらっております。それぞれの地区別の病床の今後の見通しなどももらっておりますので、これを私ども、今日も尾身先生とも1時間ちょっと議論させていただきましても、専門家の皆さんとも共有しながら分析は急ぎたいと思っております。

何か連休明けにするとかということを決めているわけではありません。繰り返しになりますが、国会も必要があれば連休中であっても対応すると伺っておりますので、確認しておりますので、必要でなれば機動的に対応したいと考えています。

(問) 連休前の国会で、尾身先生が変異株への移り変わりや病床率を含めまして、五輪の在り方というんでしょうか、開催というんでしょうか、議論を進めるべきだとおっしゃってました。これは日々、議論されている西村大臣も共通の認識を持っておられるのかどうか、これが1点です。

それから、尾身先生の発言はやはり海外メディアが報じたりして、テストマッチも始まりまますから、海外も日本の状況に非常にナーバスになるのは当然なんですけれども、大臣は外務省と組まれて海外広報のことも力を入れておられますけれども、もしもやるんだったら、海外メディアにやるべきだという論調で書いてもらうような広報をしないと、50年、何十年前の前回の東京五輪のような盛り上がりはないんじゃないかと思うんですけれども、その辺の海外広報の在り方とかをどうお考えなのかを伺いたいです。

(大臣) まず開催について、私は直接の担当ではありませんので、これは丸川大臣とも緊密に連携しながら、私の方では安全安心の大会となるように、国内の感染をできる限り早く抑えていくということに全力を挙げていきたいと思えます。

国民の皆さんの中にも、やっぱり池江璃花子さんの活躍を見てみたい、マラソンでも好記録が出ていますから見てみたい、いろんな思い、期待を持っている方、他方、これを機会に感染が広がるのではないか、こうしたことへの不安、それぞれお持ちだと思えます。

開催について、国内の観客をどうするかということについては、6月を目途に決めるということになったようでありますので、私どもとしては、この5月の大型連休を捉えての機会に何とか感染を抑えていくということで緊急事態宣言を発出させてもらって、今、国民の皆さんのご協力を得ながら、人流もかなり減ってきている地域もありますので、必ずこれは効果が出てくると思っておりますけれども、いずれにしても、そうした分析を進めているところです。

バッハ会長もそうした大会とするために今、日本として緊急事態宣言を発出されているんだと、そういった趣旨の発言をされたことと承知をしておりますので、まずは国内の感染を抑えていくべく、全力を挙げていきたいと考えています。

特に501Yの変異株については、もう関西ではほぼ入れ替わり、首都圏でも6割、7割と多分なっていると思えますので、感染力が強いこれを抑えるために、今回、百貨店で休業要請、あるいはイベントの無観客、こういった非常に事業者の皆さんにとっては厳しい措置をお願いいたしました。映画館の皆さんも、本来なら感染が拡大しないことは分かっています。それでも人が集まると、接触によってやはり感染のリスクは、今

回の変異株の場合は拭いきれないということで、映画館も休業をお願いしております。これまで取られていた感染防止策には本当に感謝を申し上げて、また、いろいろな実証をやって検証をやって、スーパーコンピュータを使ってやってきましたので、我々も進化をさせてきたんですけれども、しかし、この変異株のこれだけの感染力、そして感染レベルがここまで上がってきておりますので、これは人の流れを止める、接触機会を減らすしかないということで御理解いただいて、協力いただいております。

ですので、何とかここで、この緊急事態宣言で抑えたいと考えているところですが、さらにインドの変異株についても三重、四重の変異があるということがWHOからも示されておりますので、そうしたことに備えるために、水際の対策を強化したところでもあります。引き続きいろいろな変異が恐らく出てくるでしょうから、そういったことにも備えながら、何とかしても感染を抑えて、安全安心の大会となるように、私の立場からは全力を挙げて感染拡大を抑えていきたいと考えております。

いずれにしても、尾身先生とも毎日のように議論しておりますし、丸川大臣ともしっかりと連携をしながら対応していきたいと考えております。

(問) 緊急事態宣言の解除についてお伺いいたします。

東京、大阪ともに新規陽性者数が1,000人を超える状況。今日はちょっと下がっているみたいですが、それぞれの指標と人出を見られて、来週の宣言解除が可能なのか、現状の認識について教えてください。併せて、現在出ているまん延防止等重点措置の解除についても教えてください。

(大臣) 今日には2日で、11日までですから、まだ10日近くありますので、今はとにかく国民の皆さんにお願いをして、今日、我慢していただくことが10日後、2週間後に数字となって表れるわけです。ですので、とにかく緊急事態宣言を長引かせないためには、毎日毎日の御協力が必要なんです。

繰り返しになりますが、発症までの潜伏期間とか検査の期間、そして報告されるまで約10日から2週間かかりますので、今日の皆さんの行動が、お一人お一人の行動が10日後、2週間後に表れるわけでありまして。これだけ感染が広がっていますから、是非、皆さん方には、自分だけは大丈夫、そう思わずに。

大阪で毎日 1,000 人レベルが続くとあっという間に、大阪府民の数百人に 1 人が感染するというレベルになってしまいます。もう全く他人事ではありません。先ほど申し上げたように、屋外でマスクを着けていても、感染が確認されるような事例の報告が相次いで出ています。屋外だから大丈夫、こういったことも、是非、理解をしていただいて、何とでもお願いをしたいと思えます。

その上で感染状況、それから病床の状況など日々分析を、それぞれの都府県とも進めておりますので、こうした状況を見ながら、適切なタイミングで専門家の意見を聞いて、判断をしていきたいと考えております。

いずれにしても、今の皆さんの行動がまさに 11 日前後に結果として表れてきますので、この連休中は是非ともステイホーム、できる限り自宅にいていただいで。もちろん買い物とか散歩とかジョギングとか、そういったものは可能ですけれども、しかし人混みを避けていただくこととかを含めて、是非、改めて御協力をお願いしたいと思えます。

まん延防止等重点措置についても、それぞれの地域で取り組んでいただいでしております。これまでの我々の分析で言いますと、やはり緊急事態宣言の方が、人流の減りなど効果が大きいものがあります。

特に今回は幅広く休業要請もお願いしておりますので、効果は大きいものがありますが、まん延防止等重点措置も、東京や大阪のケースを見ても、やはり 2 割から 3 割、人出は減っておりますし、そのことが今の伸びを抑えている。

一気にうわーっといわゆる爆発的な感染拡大、2 から 3 日で倍増するようなところを抑えて、何とか横ばいに留まってきているのは、まん延防止等重点措置の効果が一定程度出てきているものと専門家も分析をされておりますので、一定の効果は持ちます。

その意味で今、宮城もかなり改善されてきておりますし、愛知県は人流がもう少し減ってくれないか、ということを考えておりますけれども、先ほど申し上げた、まだまん延防止等重点措置になっていない福岡とか北海道とかを含めて、この大型連休中に是非ともステイホームしていただくことで、何とか感染を抑えていければと考えているところであります。

いずれにしましても、それぞれの期限が 11 日に来ますので、

その前の段階で適切なタイミングで専門家の意見を聞いて、判断をしていきたいと考えております。

（問）今日の全国の重症者数なんですけれども、過去最多となる見込みになっておりました、まん延防止等重点措置や宣言も出していますけれども、こういった重症者が増えているということについての、大臣の受け止めをお願いいたします。

（大臣）本当に新型コロナウイルス感染症に感染されて、もちろん無症状の人もおられますけれども、比較的若い世代の方も、変異株によって重症化する報告も受けております。その意味で本当にコロナとそれぞれ戦っておられる方々に、改めてお見舞い申し上げたいと思いますし、何とか皆さん方の命を守れるように、それぞれの都府県で今全力を挙げて対応をしてきております。

重症化される方の数は、感染者数よりも2週間とか3週間遅れて増加してきている傾向がありますので、これはこれまでの経験から言えば、まだ増える可能性があります。ですので、そのことに対する備えを今、全力で国も支援しながら行っているところであります。

特に大阪、兵庫が非常に厳しいということで、看護師百二十数名を大阪と兵庫。大阪はすでに派遣を始めておりますし、兵庫も調整を進めておりますので。

その意味では兵庫県知事とも話をしまして、看護師派遣を国から行うからということで、どこの病院に何人派遣をするのかということ、早く調整を進めてほしいということで、神戸市長とも話をいたしました。

兵庫県の中で調整をされて、神戸市が、重症化ベッドが特に厳しいということで、重症化に対応できる看護師さんは、主として神戸に派遣することになりますし、私の地元の明石市あるいは尼崎市は、感染が非常に増えて厳しい状況ですので、そういった地域にも看護師さんを派遣するということが昨日来、調整を進めておりますので、今日にでも恐らく派遣がされるものと思います。

そういう意味で病床についても国を挙げて、関係省庁から企業が保有している病院など、あるいは国が保有する国の関係の病院、こういったところの病床確保に全力を挙げております。こういった対応を取りながら、皆さんの命を守るために全力を

挙げているところでもあります。

さらに重症化数が増えることも想定しながら、それぞれの都府県で病床を増床しております。これは緊急事態宣言の地域、あるいはまん延防止の地域に限らず、福岡や奈良、和歌山、徳島でも病床を増やしておりますので、そうした対応を国としても支援しながら、何としても皆さん方の命を守るべく、全力を挙げていきたいと考えております。

（問）延長するかどうか、その可否について前にも質問が出ていましたけれども、改めてお伺いしたいんですけれども。残り緊急事態宣言の期間が10日になりました。

大臣も先ほどおっしゃったように、検査の結果が出るまで、潜伏期間も含めて10日～2週間ということは、現状で考えると延長なのか、それともどうなのかというのは、ある程度出てくるんじゃないのかな、というふうにも想定されるんですけれども。

また、その判断をするのが今週の末ぐらいでないと、各都道府県とかの調整とかも考えると、間に合わないと思うんですけれども、その辺りはいつ頃、どのように判断するのか、もう一度お伺いしてもよろしいでしょうか。

（大臣）繰り返しになりますけれども、御指摘のように今日の行動が、約10日後～2週間後にかけて結果として表れますので、国民の皆さんに改めてこの連休中、今日も含めて改めて、できる限り不要不急の外出を避けていただく、このことをお願いしたいと思いますし、帰省や旅行をこの後半で考えておられる方、航空会社やJRはキャンセル料を取らないということの配慮もしてくれておりますので、是非もう一度考え直していただいて、対応していただきたいと思えます。

その上でこの緊急事態宣言が25日からで、20時までの時短、あるいは休業要請なども幅広く行っておりますので、かなりの人出が減ってきております。

今日も東京都の研究所も含めて、これは東京だけに限らず大阪、それぞれの緊急事態宣言の地域、それからまん延防止等重点措置の地域、あるいは福岡や北海道なども分析を進めているところでもありますけれども、全国的にやっておりますので、そうした中で緊急事態宣言の地域では、特に夜間の人流がかなり減ってきています。

もちろん、昼の人流も減ってきています。これは休業要請を大型施設にお願いして、それに御協力いただいている効果、成果だと思いませんけれども。特に夜の人流の減り具合が、これまで感染には大きく影響しておりましたので、昼の人流が減っていることと併せて分析を進めております。一定の効果は出てくるものと、専門家の皆さんも分析をされています。

ただ、それがどの程度の減少につながっていくのか、変異株の感染力の強さと、言わばせめぎ合っている状況だと思しますので、そういったところの分析をさらに進めたいと思っております。

これはそれぞれの要請のあった地域も含めて、こうした分析を含めて私どもは判断をしていきたいと考えています。今の段階からまだ解除をどうするかというのは、お答えするのはまだタイミングが早いと思えます。引き続き分析を進めながら、然るべきタイミングで専門家の皆さんに御意見を聞いて、判断をしていくということになります。

これまでも緊急事態宣言を始めるとき、解除するとき、いろんなケースがありました。比較的早い段階で方向性が分かっていたので、見えてきたということ、早い段階から判断をしていくケースもありますし、それから全国に広げるということで、割と早い段階で、昨年は全国に緊急事態宣言を広げたケースもありました。それから、緊急事態宣言をやるということ、当時は諮問委員会を開いて、その翌日から、あるいはその日から始めたようなケースもありました。

ですので、事業者の皆さんにはそれぞれ準備もある中で、様々な御不便をお掛けすることもあるかもしれませんが、しっかりとデータを分析して、その方向性が見えてくるのかどうか、そういったところの見極めをしっかりとやった上で、適切なタイミングで分科会を開いて専門家の意見を聞いて、判断をしていくということになります。

(問) 開催を強く主張した寄席が、東京の要請を受けて全て休業になりました。それで3日は鈴木が、5日は浅草演芸ホールが生配信をしたり、それから落語家応援で1,000円のチケットを売ったりするとか、面白いことをやっておるんですけれども、とにかく退屈なんですけれども、大臣、聞いてみる気はございませんでしょうか。

(大臣) 演芸場の皆さま、寄席の皆さまには、昨年は浅草にも私は訪問させていただきました。まさに感染防止策を徹底されて、寄席を見ている人の中で感染が広がったという報告は受けておりませんので、皆さん方の努力、これまでの感染防止策の徹底に、改めて感謝を申し上げたいと思います。

そもそも寄席をはじめエンターテインメントの皆さん方は、私たちの生活を豊かにしてくれる、心を潤してくれる、まさになくてはならない産業、事業であるということは、私も全くそのように思います。

また、この日本の文化芸術、これはある意味でも国の基礎になるものでありますので、是非、事業が継続していけるように、私どもとしてしっかりと支援をしていかなければいけない、その思いを強く持っているところであります。

その上で、しかしながら今回は、先ほど申し上げたように、変異株はマスクをしていても感染をするケースが出てきています。これまでは感染者が普通は出ないような濃厚接触者でも、これまで以上に感染の報告が多い。また、その範囲を広げて今、クラスター対策をそれぞれの都府県で進めています。

そういう意味で感染力が強いということ、そして重症化をするリスクがあるということ、さらには東京も大阪も1,000人のレベルになってきているという、こういったことを含めて、感染防止策を徹底されている行動であっても、もう自粛をしていたただかないと、できるだけ控えていたただかないと感染レベルを抑えられない。

そういう状況になっていることを、是非、御理解いただいて、今回、改めて休業要請に応じていただけるということで、感謝申し上げます。

そしてその間、様々な支援策。様式、形態がどういうものかということによって違いますけれども、一般論で言えばキャンセル料などの支援、主催者側に対してそういった支援もありますし、あるいは個人事業主であれば、個人事業主として最大40万円、20万円の支援もあります。

また、従業員の皆さん、働いている皆さんには、雇用調整助成金でパート・アルバイトの方も含めて、あるいはシフトが減った方も含めて、1日最大1万5,000円、これは国が全て負担をして支援をさせていただきます。こうしたことで事業が継続していけるように、また、それぞれの雇用が守られていくよう

に、しっかりと応援をしていきたいと思えます。

さらにその上でライブ配信などをしていくということで、いろんな工夫をされておられますので、私も時間が取れば見たいと思えますけれども、昨日、今日も先ほど申し上げたように、知事とかなり頻繁にやり取りをしておりますし、もちろん電話をする以上は、その県のデータをしっかり分析して、私から知事に伝えなければいけませんし、そういった取組。今日は尾身先生とも議論をさせていただきました。

できる限りオンラインで、昨日もオンラインでやらせていただきましたけれども、オンラインで打合せもしておりますけれども、言わばオンラインを活用したテレワークなども含めて対応しておりますが、時間が取れば、皆さんのそうした努力、新たな取組を応援していきたいと思えます。

そうした活動も持続化補助金、IT補助金、こういったもので様々な新たな取組、支援ができますので、これも公募はずっと続いておりますから。金額としては100万円とか150万円とか、大きな金額ではありませんけれども、是非そうしたネット配信をしていくようなことを含めて活用ができますので、是非。

もう既に設備は全部あるということかもしれませんが、さらには何か挑戦をしていくということであれば、そういった支援策もご活用いただければと思えます。

いずれにしても、皆さま方の御判断に敬意を表し、また、そうした取組をしっかりと、国としても応援をしていきたいと考えております。

ありがとうございました。お休み中どうもすみません。よろしく願います。

(了)